



地域社会の未来のために、 SDGsの普及・向上に取り組んでいます。

SDGs教育

持続可能な社会を共創する人材を育てる



長浜北星高校での講義の様子

地域の子どもたちに社会的課題への関心を高めてもらうことを目的に、地域の学校等へ行員が出向き、講義を実施しています。SDGsの背景やフェアトレードの取り組みなどを説明し、「日頃の生活習慣を持続可能なスタイルに見直したい」などの感想をいただきました。

地域の福祉向上を願って

しがぎん福祉基金から助成金を贈呈

社会福祉法人しがぎん福祉基金は、2021年度の助成先として6団体を決定し、総額684万円を贈呈しました。同基金は、地域福祉の向上を願い、滋賀銀行創立50周年記念事業として1984年に設立。滋賀県内で取り組まれている福祉の実験的・開拓的な取り組みに対して幅広く助成をしており、これまでの助成は累計で504件、総額3億8,190万円となりました。

第24回環境コミュニケーション大賞

環境報告部門「優良賞」

2月17日、第24回環境コミュニケーション大賞（主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム）を受賞しました。優れた環境報告を表彰しているもので、第24回には環境報告部門147点、環境経営レポート部門114点の応募があり、当行の統合報告書やCSRレポートの内容を高く評価いただきました。これからも透明でわかりやすい情報提供に努めてまいります。



SDGsをより身近に“自分ごと”で考える

SDGsの取り組み

SDGsや地域の社会的課題を「自分ごと」として捉え、自ら考え行動できる人材を育成するための取り組みを行っています。社会問題となっているプラスチックごみへの対策では、店頭でお渡ししているビニール袋を紙袋に変更したり、本店敷地内の自動販売機でのペットボトル飲料の販売を取りやめました。これからも一つひとつ取り組みを進めてまいります。



紙袋の素材はFSC認証を取得しています